

臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所

先生各位

平成 21 年 11 月

A-09-23

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
また、平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます
さてこの度下記検査項目につきまして検査内容を変更することになりましたので、ご案内申し上げます。
何卒ご了承賜りたく、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ 実施日 平成 21 年 12 月 3 日(木)ご依頼分より

◆ 変更内容

2009 年 検査案内	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	旧	備考
P.15	4640	プレアルブミン	検査方法	免疫比濁法	ネフェロメトリー	精度の高い検査方法への変更 〈旧法との相関〉 $y=1.026x-0.693$ $r=0.997$ (n=100)
	4320	レチノール結合蛋白 (RBP)	検査方法	ラテックス凝集比濁法	ネフェロメトリー	精度の高い検査方法への変更 新基準値は文献値です。 〈旧法との相関〉 $y=0.818x-0.135$ $r=0.997$ (n=100)
基準値			M 2.7~6.0 F 1.9~4.6 mg/dl	2.4~7.0 mg/dl		
P.18	4670	PAIgG (血小板関連 IgG)	基準値	46 以下 ng/10 ⁷ cells	9.0~25.0 ng/10 ⁷ cells	基準値の見直しによる再設定 より安定性の高い専用容器へ変更 (P.61 容器「06」変更)
			検体量	血液 7.5 ml	血液 7.0 ml	
			容器	06 (ACD-A 液入)	06 (EDTA-2Na 入)	

→次面へ続く

2009年 検査案内	項目 コード	検査項目	変更箇所	新	旧	備考
P.29	18130	サイロキシン 結合グロブリン (TBG)	検査方法	RIA PEG 法	RIA2 抗体法	現試薬販売中止に伴う変更 〈旧法との相関〉 $y=1.039x+4.788$ $r=0.930(n=245)$
			基準値	15.9~35.6 μ g/ml	12~30 μ g/ml	
	18150	サイログロブリン (Tg)	検査方法	ECLIA	RIA 固相法	Non-RIA 測定試薬への変更 新基準値はメーカー設定値です。 〈旧法との相関〉 $y=0.856x-2.360$ $r=0.992(n=408)$
			基準値	32.7 以下 ng/ml	30 以下 ng/ml	
			検体量	血清 0.5ml	血清 0.3ml	
			所要日数	3~6 日	4~7 日	
			報告範囲	0.1 以下,0.2~999 1,000 以上	5.0 以下,5.0~800 800 以上	
	18160	抗サイログロブリン 抗体(抗 Tg 抗体)	検査方法	ECLIA	RIA	国際標準単位の試薬への変更 新基準値はメーカー設定値です。 〈旧法との相関(カットオフ値による一致率)〉
			基準値	28 未満	0.3 以下	
			単位	IU/ml	U/ml	
			検体量	血清 0.5ml	血清 0.3ml	
			報告範囲	10 以下,11~3990 4,000 以上	0.3 以下,0.3~100 100 以上	
18180	抗甲状腺ペルオキシ ダーゼ抗体 (抗 TPO 抗体)	検査方法	ECLIA	RIA	国際標準単位の試薬への変更 新基準値はメーカー設定値です。 〈旧法との相関(カットオフ値による一致率)〉	
		基準値	16 未満	0.3 以下		
		単位	IU/ml	U/ml		
		検体量	血清 0.5ml	血清 0.2ml		
		報告範囲	5 以下,6~599 600 以上	0.3 以下,0.3~50.0 50.0 以上		
P.28	14060	HBs 抗体 (精密測定)	判定基準	陰 性: 7.50 未満 判定保留: 7.50 以上 12.50 未満 陽 性: 12.50 以上 mIU/ml	検査案内書 未掲載	現行判定結果は、「陰性・判定保 留・陽性」で報告させていただ いており、この度判定基準を掲載さ せていただきます。
	14180	HCV 抗体Ⅲ	判定基準	陰 性: 0.80 未満 判定保留: 0.80 以上 1.00 未満 陽 性: 1.00 以上	検査案内書 未掲載	
P.61	容器一覧	No.06	ACD-A 液入り 貯蔵方法 室温 有効期限 1 年 (アルミシート開封後 1 ヶ月)	EDTA-2Na 入り 貯蔵方法 室温 有効期限 2 年		より安定性の高い 専用容器へ変更